

★水害時の感染症対策～清掃・消毒の方法～

台風 19 号により、県北地域に浸水の被害が出ております。家屋が浸水した場合、細菌やカビが繁殖しやすくなり、感染症にかかるおそれがあるため清掃や消毒が必要です。以下の点に留意しながら家屋の清掃・消毒を実施しましょう。

<清掃作業時の服装と作業時の注意点>

(1) 傷口からの感染を防ぐために

丈夫な手袋、底の厚い靴、長袖など肌の見えない服装を着用しましょう。

(2) 土ほこりへの対応

土ほこりが目に入って結膜炎や、口から入ってのどや肺に炎症を起こすことがあります。「ゴーグル」と「マスク」を着用しましょう。

(3) ケガをした場合には

傷口を流水で洗浄し、消毒しましょう。特に深い傷や汚れた傷は、「破傷風」の原因になる場合があるので医療機関を受診しましょう。（「破傷風」は破傷風菌が傷口に侵入しておこる感染症で、適切な治療を受けないと死亡する場合があります。）

(4) 清掃終了後はしっかり手を洗いましょう。

一般家屋の浸水時の清掃の方法

●屋外の場合

- (1) 汚泥や不要なものを片付ける。
- (2) 庭木や外壁に付いた泥は、水で十分に洗い流す。
※基本的に、屋外(床下や庭)の消毒は不要です。



感染症の予防のためには「清掃（洗浄）」と「乾燥」が最も重要です！

●床下浸水の場合

- (1) 家の周囲や床下などにある水や汚泥をかき出し、不要のものは片付ける。
- (2) 床下は、新聞紙や雑巾等で吸水し、風通しをよくして十分に乾燥させる。
(扇風機などで強制的に換気することもよい)
- (3) 水で流せるところは、泥などの汚れをよく洗い流す。

※消石灰の使用は原則不要です。清掃と乾燥を徹底しましょう。

消石灰は強アルカリ性のため、風で飛散し、目に入った場合、結膜炎や失明の危険があります。どうしても消石灰を取り扱う必要がある場合、素手で触らず周囲の安全に留意しましょう。



●床上浸水の場合

- (1) 水が引いた後、濡れた畳や家の中の不要なものを片付ける。
- (2) 汚れた家具や床・壁などは、水道水でよく洗い流すか水拭きをして乾燥させる。
- (3) 食器類や調理器具などは、水洗いして汚れを洗い流し、消毒液や熱湯で消毒する。
- (4) 冷蔵庫や食器棚などは、汚れを拭き取った後、消毒液で消毒する。
- (5) 水に濡れた電気配線や電気製品は、安全のため専門家の点検を受けてから使用する

※床上浸水の場合、消毒薬を配布している場合があります。お住まいの市町村へお問い合わせ下さい。

★消毒の実施方法については 2 ページをご覧ください

消毒の実施方法

※消毒は汚れを取り除いた後！清掃が不十分だと効果を発揮しません。
 ※洗淨や拭き取りにより十分に汚れを除去して、乾かした後、消毒します。

消毒薬	調整方法・対象・使用方法	
	食器類・流し台・浴槽	家具類・床・堅い表面
次亜塩素酸ナトリウム (家庭用塩素系漂白剤) (市販のハイターやブリーチの原液濃度は約5%) ※使用時の注意事項(右下欄◆印)参照	・0.02%に希釈する ・ペットボトルキャップ1杯(原液5mL)を水1Lに希釈する(0.025%になる) ① 食器用洗剤と水で洗う ② 希釈した消毒液に5分間漬けるか、消毒液を含ませた布で拭き、その後、水洗い・水拭きする ③よく乾燥させる	・0.1%に希釈する ・ペットボトルキャップ2杯(原液10mL)を水500mLに希釈する(0.125%になる) ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる ②調整した液を浸した布などでよく拭く ③金属面や木面など、色あせが気になる場所は、水で2度拭きをする
消毒用アルコール	希釈せず、原液のまま使用する ①洗剤と水で洗う ②アルコールを含ませた布で拭く ※70%以上のアルコール濃度のものを使用する ※火気のあるところでは使用しない	希釈せず原液のまま使用する ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから十分に乾燥させる ②アルコールを含ませた布で拭く ※70%以上のアルコール濃度のものを使用する※火気のあるところでは使用しない
10%塩化ベンザルコニウム (逆性石けん)	・0.1%に希釈する ・ペットボトルキャップ1杯(原液5mL)を水500mLに入れて希釈する。 ①泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる ②調整した液を浸した布などでよく拭く	・0.1%に希釈する ・ペットボトルキャップ1杯(原液5mL)を水500mLに入れて希釈する。 ① 泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、十分に乾燥させる ②調整した液を浸した布などでよく拭く
熱湯消毒	・80度の熱水に10分間漬ける 食器の消毒に使用する 汚れを洗い流してから行う 熱水は、有効・安全・経済的な消毒方法	◆次亜塩素酸ナトリウム使用時の注意事項 ・他の消毒薬と混ぜない ・ゴム手袋・長靴・ゴーグルをつけて作業をする ・室内で使用時、窓を開放し、蒸気を吸い込まない ・時間とともに原液の濃度が低下するので、開封後数ヶ月以内の製品が使用期限内にある未開封の製品を使用す

※塩化ベンザルコニウム、アルコール、次亜塩素酸ナトリウムの使い分け

汚染の程度がひどい場合、長時間浸水していた場合は、できるだけ次亜塩素酸ナトリウムを使用する。対象物が色あせ、腐食などにより、次亜塩素酸ナトリウムが使用できない場合はアルコール、塩化ベンザルコニウムを使用する。

●食中毒・感染症予防のために

- ・水に浸かった食品や、停電により保存温度が保てなかった要冷蔵・冷凍食品は廃棄を！
- ・浸水した井戸水や受水槽については、安全と衛生を点検してから使用する。
- ・生水は飲用に適した水を飲むこと。
- ・食事の前、用便、清掃の後などは流水と石けんでしっかりと手洗いを！
- ・身体に異常を感じたら早めに医療機関受診を！

参考資料：日本環境感染症学会「一般家屋における洪水など水害時の衛生対策と消毒方法」

発行日 令和元年10月17日
 発行元 福島県北保健所
 医療薬事課
 住所 〒960-8012
 福島市御山町8-30
 電話 024-534-4113
 検索 福島県北保健所